

【計画期間】令和6～15年度（10年間）**指定等文化財件数一覧**（令和5年3月現在）
 【面積】206.50km²
 【人口】約30.5万人



四日市市の歴史文化の特徴

I 自然とともに生きる 海,山,川の恵み

- ①東海湖と東海地方の固有の植物
- ②水辺に生息・生育する希少な動植物
- ③自然景観

II 遺跡が伝える人々の暮らし

- ①先史時代の人々の営みを伝える遺跡
- ②古墳に見る地域の情勢

III 古代史の舞台

- ①記紀神話の舞台
- ②朝明郡の郡家の成立と古代地方社会の発展

IV いまに伝わる市と武士の支配

- ①伊勢平氏の活躍と伊勢三郎義盛
- ②北勢四十八家による勢力争い
- ③赤堀三家による統治
- ④伊勢安国寺由来の信仰
- ⑤「四日市」の起こり

V 街道の往来が生んだ文化と江戸時代の面影

- ①幕府と大名による支配
- ②東海道と四日市宿の繁栄
- ③縦横にめぐる街道の往来

VI 産業都市の礎

- ①近代産業の発祥と四日市港の発展
- ②鉄道の発達

VII 戦後の都市形成

- ①戦災を伝える戦争遺跡と復興都市計画
- ②港の工業地帯（コンビナート）
- ③伝える災害の記憶

VIII 地域に根ざした産業

- ①四日市萬古焼の発展
- ②自然環境と人の交流が育んだ地場産業
- ③漁業と関連産業
- ④伊勢茶の産地

IX 暮らしに息づく祭礼文化

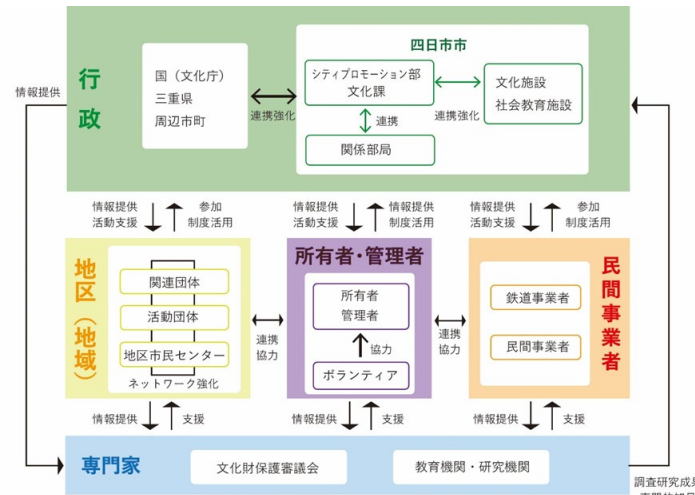
- ①農村の暮らしを支える文化
- ②受け継がれる祭礼行事
- ③守り続けられる獅子舞
- ④鯨船行事

X 水とともに築かれた歴史文化

- ①伝承にまつわる水
- ②清らかな水が育んだ醸造文化と暮らし
- ③近代の利水の歴史
- ④用水整備による安定的農業の実現

文化財種別		国指定	県指定	市指定	国登録	国選択	県選択	合計(件)	
有形文化財	建造物	2	0	5	45	-	-	52	
	美術工芸品	絵画	0	5	4	0	-	-	9
		彫刻	3	11	9	0	-	-	23
		工芸品	1	5	2	0	-	-	8
		書跡・典籍	0	1	5	0	-	-	6
		古文書	0	0	3	0	-	-	3
		考古資料	0	1	4	0	-	-	5
歴史資料	0	0	1	0	-	-	1		
無形文化財		0	0	2	0	0	0	2	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	3	4	0	0	0	7	
	無形の民俗文化財	1	1	14	0	1	1	18	
記念物	史跡	1	6	10	0	-	-	17	
	名勝	0	0	0	0	-	-	0	
	天然記念物	3	1	3	0	-	-	7	
文化的景観		0	-	-	-	-	-	0	
伝統的建造物群		0	-	-	-	-	-	0	
合計		11	34	66	45	1	1	158	

推進体制



本計画の進捗管理を通して、各主体の連携を促進する

四日市市文化財保存活用地域計画評価委員会（仮）

指定等文化財は、158件
未指定文化財は、2,210件把握

【将来像】「文化財」を通じて人々がつながり

地区（地域）の豊かな暮らしや文化を創造し 未来へ継いでいくまち 四日市

文化財の保存・活用に関する課題・方針・取組み

【基本方針】

【課題】

【方針】

【主な取組み】

①知る

「文化財」に対する調査や研究を促進し、本市の歴史文化を解明するとともに、生涯を通じて地区（地域）の「文化財」を学ぶ機会をつくる。

調査・研究

- ・「文化財」調査が不十分
- ・「文化財」の消失が進行
- ・「文化財」の現況の把握が不十分

学び・普及

- ・地区（地域）における「文化財」の価値に関する情報発信の不足
- ・小中学校との連携不足
- ・地区（地域）における「文化財」の価値を学ぶ機会の不足

- ・未調査の「文化財」の把握調査実施
- ・歴史的価値の高い「文化財」の詳細調査実施
- ・「歴史文化遺産」をデータベース化、運用

- ・「文化財」の価値の発信と学びの場の充実
- ・ふるさと学習の充実
- ・地区における学びの場・機会を設ける

6 「歴史文化遺産」リスト、データベースの作成、公開

地区（地域）や個人で大切に残されている「文化財」を把握し、「歴史文化遺産」リスト及びデータベースを作成し、地区単位で整理を行い、ホームページや地区市民センター等で公開する。
 ■行政、地区・地域、管理者・所有者、専門家 ■R6～15

②守る

「文化財」を、地区（地域）で共有する宝として、所有者や管理者だけでなく、地区（地域）で守り、継承していく。

保存・修理

- ・修理等に関する資金の不足
- ・未指定文化財の保存が困難
- ・「文化財」の保存・保管施設の老朽化

防災・防犯

- ・災害及び盗難への対策不足
- ・災害発生時の対応の未整備

- ・修理・維持管理等の所有者・管理者支援
- ・民間資金の活用支援
- ・未指定の「文化財」の保存への支援
- ・多様な方法による「文化財」の保存・保管

- ・災害への危険性の把握
- ・地区（地域）の防犯対策を支援
- ・防災マニュアル作成及び応急的保護体制整備
- ・災害時の「文化財」避難施設の整備
- ・災害時の「文化財」の所在等を確認

28 「文化財」防災マニュアルの作成及び応急的な保護を行う体制整備

災害に備えるための指針となるマニュアルを作成する。また、災害発生時には、県・国と連携し、被災文化財の状況確認、「文化財」所有者・管理者及び県との連絡調整、修理に関する体制を整える。
 ■行政、地区・地域、管理者・所有者 ■R6～15

③活動を育む

「文化財」に関する情報発信の充実や関連施設等の活用により、市民等が「文化財」に関わる多様な機会を作る。「文化財」を通じて地区（地域）の活動を多様化、活性化する。

情報発信

- ・施設での取組みについての情報発信不足
- ・情報発信に関する主体間の連携不足

活動・体験

- ・地区（地域）活動の継承が困難
- ・地区（地域）活動の実施に伴う人的、金銭的負担
- ・「文化財」の魅力に対する市民の意識が希薄

- ・市民にわかりやすい「文化財」の情報発信
- ・シティプロモーションとして一体的・総合的な情報発信
- ・多様な主体による情報発信

- ・地区（地域）活動への支援（情報提供、ノウハウ、ボランティア等）
- ・多様な主体による連携した取組み
- ・全市的な取組みの充実

39 地区の「文化財」を活かした活動及びその支援

各地区における、「文化財」を活かした活動（冊子づくり、まち歩き、マップ作り、サロン活動、体験イベント、郷土史会等の交流を促進する活動団体の成果発表や情報交換等）及びその人的、経済的支援。地区市民センターと連携。
 ■地区・地域、行政、管理者・所有者、専門家（民間） ■R9～15

④未来へ継承

文化財単位、地区単位に加えて、相互に連携、交流し、それぞれの取組みを支援することで、「文化財」を未来へ継承する。

継承・担い手

- ・担い手や行事への参加者が減少
- ・祭礼行事への関心が希薄

体制づくり

- ・行政の体制、庁内連携が不十分
- ・地区団体と市の協働の不足
- ・地区団体の育成、団体間連携の不足
- ・広域連携が希薄

- ・多様な担い手育成
- ・若い世代が「文化財」に触れる機会の創出
- ・文化財に対する理解・関心を喚起

- ・市の体制強化及び庁内連携の促進
- ・行政と地区等が連携・協働体制づくり
- ・活動団体同士の交流や連携促進
- ・他の自治体との連携した取組み促進

48 学校と地区（地域）との連携

地区（地域）の「文化財」に関する学習支援や情報発信により、学校と地区（地域）との連携を図り、担い手育成につなげる。
 ■行政、地区・地域、管理者・所有者 ■R6～15

関連文化財群

1 東海湖由来の湿地の植物

市内の丘陵地には、600年前から100年前まで存在した**東海湖（東海湖盆）**に由来する湿地がある。湿地には東海地方の固有種をはじめとする貴重な植物が多数生育している。



御池沼沢植物群落

3 中世の城跡 北勢四十八家と赤堀三家

この地方は**北勢四十八家**といわれる土豪達が群雄割拠していた。市内には約40力所の城館があった。中でも**赤堀三家**は赤堀・浜田・羽津に城を築き、北勢地方で勢力を張ったと語られている。



浜田城址（鶉の森公園）

5 産業都市四日市の礎となった近代産業

幕末より、四郷地区をはじめとして本市では**近代産業**が盛んとなり、**四日市港**の発展や**鉄道**の整備による輸送力の増強に伴い近代化が進み、産業都市となった。



旧四郷村役場

2 古代史の舞台 久留倍官衙遺跡と朝明郡

古代の四日市は、北部は**朝明郡**、南部は三重郡に属していた。久留倍官衙遺跡は、朝明郡の役所の遺跡であり、壬申の乱や聖武天皇東国行幸に関わる古代史の舞台ともなった。



久留倍官衙遺跡

4 近世東海道と四日市宿

江戸時代、**四日市宿**は、東海道の43番目の宿場町となり、人と物の往来が活発だった。また、富田は立場、日永は間の宿としてにぎわった。**日永の追分**は、伊勢参宮道との分岐点だった。



日永の追分

6 勇祭！鯨船行事

北勢地方に現存する陸上の模擬捕鯨行事である。鯨を豊饒の象徴とみなし、これを仕留める演技を行うことによって、**大漁**や**豊饒**を祈願するこの地域に伝承する行事である。

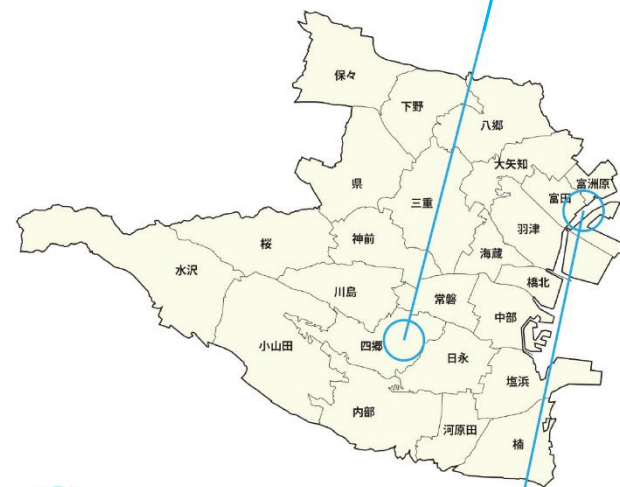


鳥出神社の鯨船行事

文化財保存活用区域

1 近代産業発祥の地 四郷の歴史文化

関連文化財群5「産業都市四日市の礎となった近代産業」の文化財群が集中している。また、伊勢安国寺に由来する寺社や仏像、大念仏などの祭礼行事もある。



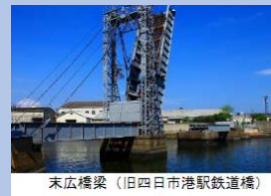
2 漁師町の歴史文化 富田、富洲原

漁師町として発展し、町並みが残る。鳥出神社の鯨船行事のほか、石取祭やけんか祭り等の祭礼行事も行われている。漁業に関連し製網等の地場産業も発展し、歴史的価値のある近代建築も残る。

【関連文化財群5】産業都市四日市の礎となった近代産業

概要

幕末から近代にかけて、四郷地区では、製糸・製茶・醸造などの産業が盛んになり、四日市港の発展や鉄道による輸送力の増強に伴い、四日市市の近代産業発祥の重要な地の一つとなった。5世・6世伊藤小左衛門や9世・10世伊藤伝七は、工場の機械化や輸出産業の近代化という流れを逸早く読み取って事業を拡大し、興した企業のいくつかは地元を根を下ろし、各地に伝播した企業は業態も変革し製品も多角化して、現代に適合しながら継承されている。また、これらの先人たちは学校の創設や役場建設の寄付、働き口創出のための工場建設等でも地域に大きく貢献したことから、今でも住民に敬われる存在となっている。



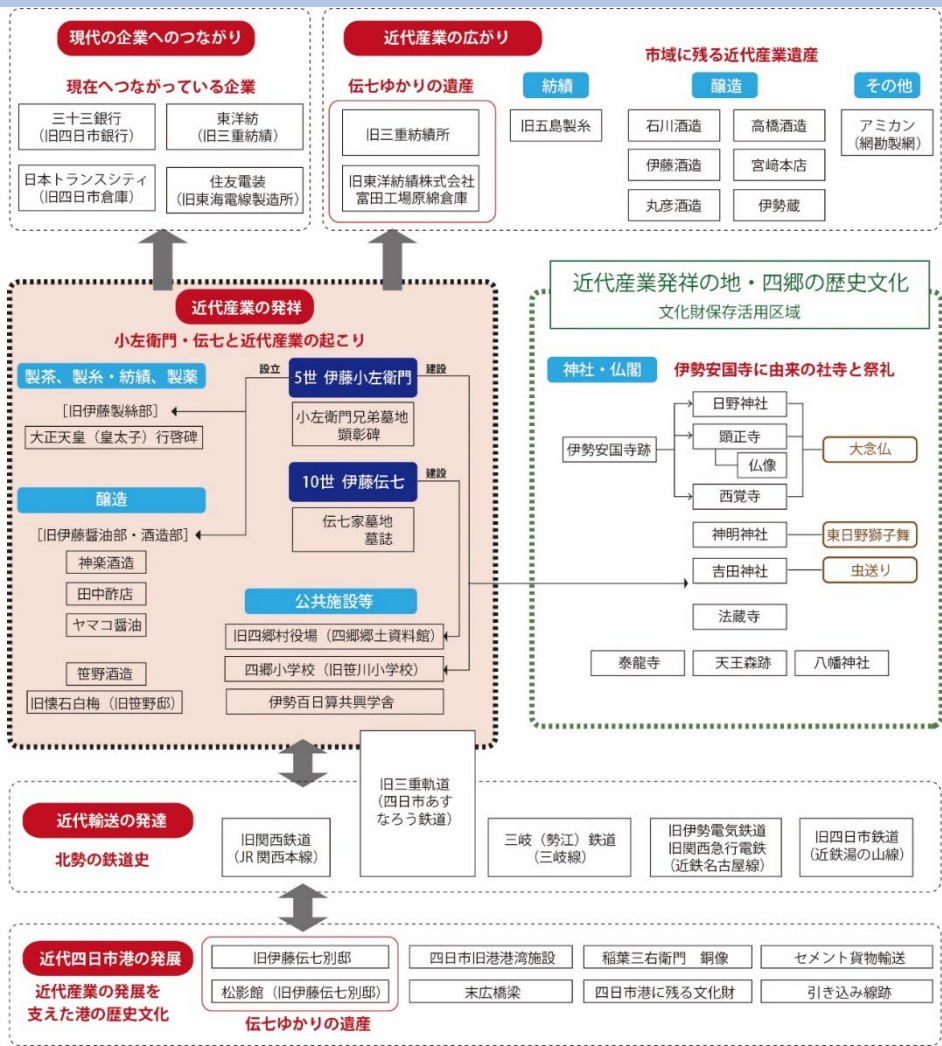
末広橋梁 (旧四日市港駅鉄道橋)



旧東洋紡績富田工場原綿倉庫



アミカン本社事務所



課題

- 近代化遺産となる「文化財」の消失と減少
- 関連する「文化財」の周知不足と計画的な取り組みが不十分
- 民間の所有者や事業者との連携の不足
- 「文化財」を活かした景観づくりが不十分 等

方針

- 近代化遺産の調査と価値の評価
- 近代化遺産としての指定・登録と計画的な修理
- 民間事業者等との連携による取り組み
- 四日市港の歴史を活かしたまちづくり

88 近代化遺産調査

近代化遺産について価値付けを行い、連携して保存・活用を図る。

■行政、専門家、地区・地域、管理者・所有者 ■R6~15

89 未指定文化財の指定・登録

調査、情報収集を図り、指定・登録に向けて、所有者、管理者に働きかける。

■行政、管理者・所有者、専門家 ■R6~15

主な取り組み

93 「文化財」マップの作成

食事、休憩場所、公共交通機関等、来訪者が「文化財」を巡ることができるような情報発信を行う。

■行政、地区・地域、管理者・所有者 ■R6~15

94 四日市港「文化財」巡り

潮吹き防波堤や末広橋梁等、「文化財」を中心に散策するイベントを行う。工場夜景クルーズ等の既存事業も合わせてPRする。

■行政、地区・地域、管理者・所有者、専門家(民間) ■R6~15